



国民皆保険制度を守る特別集会

函館市医師会広報部員 佐々木 正人

「国民皆保険制度を守る特別集会」が12月9日、金曜日、午後7時からホテル函館ロイヤルで開かれた。函館市医師会などの医療関係者174名、函館市議会議員等ご来賓11名、一般市民25名の合わせて210名が出席した。

高齢者の患者負担引き上げなどを柱とする政府・与党の「医療制度改革大綱」への反対を訴えた。

集会の始めに函館市医師会の山 英昭会長が「世界に冠たる国民皆保険制度を守っていかねばならない」と挨拶した。次に、中川俊男・北海道医師会常任理事が講演を行い、医療制度改革

大綱は「公的医療費の抑制を図り、患者負担を大きくする」と、財政主導の医療改革議論を批判した。この後、北海道第8区選出の金田誠一・衆議院議員（民主党）も講演した。

最後に、団結を確固としたものにするため、「高齢者の患者負担増」「高額医療・人工透析の患者負担増」「入院時の食事・病床代自費化による患者負担増」「保険免責制による患者負担増」「医療の安全と質の低下をまねく医療費総枠管理制」などに反対するアピールを、参加者が拳を突き上げて読み上げた。



講演する中川俊男北海道医師会常任理事



講演する金田誠一衆議院議員



会場の様子



反対アピール読み上げ